

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 3 月 12 日

事業所名 キッズワールドサポート Ocean II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		活動の状況により、スペースを広げる等の工夫をしている。一軒家タイプなので庭も活用出来るようにしている	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	常勤は児童指導員で配置 4月より、リハの先生が配置されます	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	玄関前は階段があり、必要時にはスロープをつけるようにしている。 室内はバリアフリーである。特性に合わせて視覚効果が出るよう工夫している	車イス利用している児童にとっては、小さな段差はどうしてもある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		家庭的な雰囲気の中で活動によって空間を変えるなど、落ち着いて過ごせるよう工夫をしている	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	朝のミーティングで利用者の情報を共有している。 ご家族からの要望、注意点、職員からの意見等があればミーティングで話し合い業務改善に繋げている	継続して行く
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		初回の評価実施で、協力依頼を行いました。保護者様のご協力のおかげで100%回収する事が出来ました。保護者の意向も把握する事が出来て良かった	保護者の意向を把握が出来、業務改善に繋げていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページで公開します	継続して行く
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	第三者による外部評価は行っていない	状況を見ながら検討して行く
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	職員の希望も取り入れている	コロナの自粛期間があり、研修の予定がキャンセルになるなど思うように外部研修が受けられなかった。内部研修も取り入れ、職員の資質の向上を図りたい
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		アセスメントを適切に行い、相談員の計画書の共通理解、担当者会議での情報を共有し、職員間での会議を行い計画書の作成を行っている	継続して行く
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化されたアセスメントツールを使用しており、誰が見ても分かりやすい	継続して行く
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			移行支援、地域支援に関しては、具体的な支援内容を設定していない為、設定出来るようにする 地域支援に関しては、コロナ感染症の状況を見ながら検討して行きたい
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		職員全員が計画書をいつでも見れる状況にしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		毎月職員で話し合いを持ち、プログラムを立案している	継続して行く
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		利用者の希望を取り入れたり、馬とのふれあいや車いす体験など、体験学習もプログラムに取り入れるようにしている 若石健康法も取り入れている	継続して行く
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		本児の得意な事は伸ばせるようにし、苦手な事は無理の無いように配慮しながら、個別活動と集団活動を組み合わせるようにしている	継続して行く

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝のミーティングで送迎の確認・活動内容・役割分担の確認をしている	継続して行く
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		申し送りノートの活用や支援終了後に情報の共有・送迎時間の関係もあり、朝のミーティングにて、再度支援の振り返りや、きずいた点を共有している。必要時は支援方法も話しあっている	継続して行く
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		複写式の連絡ノートの活用と支援記録を残している	継続して行く
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングを行い、職員と話し合いの上、見直しの必要性を判断している	継続して行く
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当者会議前には、職員でモニタリングを行っている 担当者会議には、児童発達管理責任者が参加している	継続して行く
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		7	該当者がいません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		7	該当者がいません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		7		幼稚園、移行支援(初回)の担当者会議を持つ予定がありません
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	6		小学校への移行支援(初回)の担当者会議を持つ予定があります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		コロナ感染症の影響により研修を受ける機会が来ずいた。 状況を見ながら、研修を受けられるようにしたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	5	保育所や認定こども園、幼稚園を併用する事で障害のない子供たちと活動する機会があります	継続して行く
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7		参加出来ていない状況にあり、状況を見ながら検討して行きたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡ノートの活用と、送迎時にはその日の状況を伝えるようにしている。 状況によって、電話で伝える事もあります	継続して行く
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明を行っている	アンケートの中で、「分からない」との回答もあり、保護者様に分かりやすいようにもっと丁寧な説明をしていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		職員で会議を持ち計画書が作成された後は、支援内容の説明を行い、保護者からの同意(サイン、印)を得ています	継続して行く

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		定期的なモニタリング会議で行うようにしている 保護者様からの相談があった場合は、相談内容を職員で話し合い、面談するようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	若石健康法も取り入れながら保護者会を開催する予定でした	コロナ感染症の影響もあり保護者会を開催できないでいた為、状況を見ながら検討していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		活動の様子をOcean II 便り（会報）にて毎月1回発信している	Ocean II 便り（会報）に行事予定をいれていない為、検討して行く
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報の活用に関する承諾書をお願いしています。職員も取り扱いには、十分注意をしている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	近隣を散歩するなど、地域の方とあいさつをしたり関わられる機会をもてるようにしている	コロナ感染症の影響もあり、地域住民を招待するには至っていない。コロナ感染症の状況を見ながら検討して行きたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	年2回の計画をしている	4月より職員配置の変更等もあり、全職員が周知出来るようにする
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	年2回の計画をしている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		ご家族からの事前に報告を受けている。 てんかんに関しては、マニュアル作成を行い、てんかん発作前の症状を職員が把握できるようにしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		保護者から事前に報告があり、全職員が把握出来るようにしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		役所の研修を受けるようにしている 職員の希望も取り入れている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3	身体拘束を行う事が無い為、計画書には記載していない	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。